

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	環境に配慮しエネルギーを工夫して大切に使う	施策の成果指標又はムトス指標	飯田市全体が排出する温室効果ガス排出量(トン・20年度算出実績は18年度のもの)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	平成20年度に社団法人 日本ゴルフツアー機構と飯田市上郷野底山財産区、平成22年に株式会社 八十二銀行と飯田市北方外三区財産区・飯田市二区財産区、株式会社 アイバックスと飯田市山本地区財産区・飯伊森林組合との契約ができ、当初の目標を1年早く達成することができた。		
	後期に向けた課題	当面3者との交流に、積極的に取り組むことを課題としたい。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	長野県林務部や下伊那地方事務所林務課と、常に情報の共有を図った。		
	後期に向けた課題	長野県林務部や下伊那地方事務所林務課との、連携の強化を図る。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	会議などの開催にあたり、飯田市で行うようにした。		
	後期に向けた課題	現状の継続		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	交流を行う中で、受益者負担は必然的に発生するため、適正である。		
	後期に向けた課題	現状の維持		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	受入先である財産区等が、自主的に取り組めれば一番良いが、当面は飯田市が主体になって取り組んでいく必要がある。		
	後期に向けた課題	引き続き協調して取り組んでいくものである。		
全体を通じて	4年間の振り返り	長野県下で3企業との契約をしている自治体は無い。		
	後期に向けた課題	県林務部の指導もあることから、当面は3企業との交流に重点を起きたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------